

【凡例】○:要求する項目、-:提案による項目(なお、法令等で求められる場合は適宜計画すること)

分類	階数	室名	室数	有效天井高 (mm)	面積 (1室)	面積 (合計)	配置	特記事項(用途および仕様)	官庁施設の基本性能基準								建築	電気				空調	換気	給排水									
									耐火	初期火災	対浸水	防犯性	音環境	光環境	熱環境	空気環境	情報化対応	内部仕上	照明		電源		構内交換	監視カメラ	空調	発電機回路							
																			照度 (Lx)	発電機回路	コンセント	発電機回路	TEL等	LAN									
新設施設	共通	各階	トイレ (男子・女子・ バリアフリー共通)	-	2,600 以上	-	-	-	壁、床、衛生陶器、手摺の色は、視認性確保のために色分けを行うこと。 トイレの洗浄ボタンは、認識しやすさに配慮して、その他のボタンより大きいものを採用すること。 手摺は、抗菌樹脂付きのものとし、堅固に取り付けること。 トイレ間の間仕切り壁は、防音対策を措置すること。 全ての手洗器には鏡を設け、バリアフリートイレ並びに男子トイレ及び女子トイレの1か所以上は車いす利用者の利用に配慮して大型鏡(H=1,000mm以上)を設けること。 衛生的で、障害者や高齢者等にも使いやすく快適性の高い器具を採用すること。 配置は、配管の更新など修繕工事時における施設機能が確保されるように計画すること。 省エネルギー・省資源にも積極的に配慮した器具を採用すること。 地上1階トイレの自動水栓、小便器、大便器、オストメイトの電源は停電時でも給電できるよう保安回路とすること。 トイレの手洗いは自動水栓とし、水石けん供給栓(露出タイプ)を整備すること。 小便器は個別自動洗浄小便器とする。 大便器は以下の仕様とする。 ・大便器は洋式便器とし壁掛け型で掃除口付の連続使用可能なタンク式とする。 ・ラインングにタンク点検用の十分な大きさの点検口を設けること。 ・紙巻器は棚付き2連のものとすること。	IV II II III - III - II - A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
									トイレベースの鍵は、打掛錠ではなく大型錠とし、非常開錠可能な仕様とすること。 各トイレのトイレベース(H=1,900mm以上)の内1か所以上は車いす使用者に使用可能なトイレベース(以下、車いす使用可能ベースといふ。)とし、Φ1,800mm以上のスペースを設けること。 車いす使用可能ベースは、出入口有効幅員95cm以上の引戸とし、出入口前は1,400mm×1,400mm以上のスペースを設けること。 ハンドドライバーを設置すること。 車いす使用可能ベース内は洋式便器、両側手摺を設けること。 車いす使用可能ベースまでの経路は、車いす通行可能な有効幅員を確保すること。 各トイレのトイレベースの内1か所以上は、乳幼児用設備を設置すること。 トイレの入口に最も近いトイレベース及び小便器には、手摺を設置すること。 ベース扉は戸当たり兼用具掛け金具を設置すること。 (男子・女子トイレ) 温水洗浄暖房便座は蓋あり、洗浄ボタン及び温水洗浄便座のリモコンは壁付けの自己発電式とし、リモコンは擬音装置付きとする。 排気は、専用の独立した換気設備とすること。その他臭気や空気汚染のおそれのあるエリアは、個別設備とすること。	IV II II III - III - II - A		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広場関連諸室	地上 1階	広場(共通)	-	-	-	-	-	-	排水設備の耐荷重は一時停車スペースの車両横断部T-25、その他車両通行可能部はT-14、車両通行不可部分はT-2とすること。 広場内は将来の舗装改修工事やイベントを考慮して、10tダンプ車(車両総重量20t程度)が作業可能な荷重設定とすること。 芝張り下部は、車両乗り入れ可能とするために、芝生用耐圧基盤土壌等の対策を講じること。 芝生用耐圧基盤土壌は雨水貯留浸透製品評価認定対象製品とすること。 公園出入口の車止め間隔は、車いすの通行に配慮して1,200mmとする。 駐車場上部は、暗渠排水管を設ける等により、スラブに水が溜まらないよう配慮すること。 山崎川沿いの景観に配慮して山崎川沿い園路に隣接する部分には桜を新植すること。 四阿は、遊具広場に近接して1か所、芝生広場に近接して1か所の合計2か所に設けること。 水飲みは車いすでも使用可能な形状とし、芝生広場、遊具広場、屋根付き広場から利用しやすい位置に1か所設けること。 手足洗場を1か所以上設けること。 自動販売機2台分以上の設置スペースを計画すること。 地下躯体からの土被り厚は、高木の植栽を想定して、800mm以上確保すること。 緑地散水用に散水栓を必要数設置すること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	○	-	○
		園路 (階段・スロープ含む)	-	-	-	-	-	-	公園出入口から屋根付き広場、遊具広場、地上1階バリアフリートイレ、8の字ループアセス経路(階段、スロープ、EV)、地下駐車場出入口について、下記の要求水準に適合すること。 園路は、幅員2,000mm以上とすること。 園路の内、発電機室までの給油車の通行経路は、有効幅員3,000mm以上とすること。 山崎川沿い園路は河川管理車両用に有効幅員3,000mm以上確保すること。 公園内園路は自転車及び自動車の乗り入れを原則禁止とし、維持管理車両や緊急車両が通行可能な車道用舗装とすること。(車両の通行不可範囲を除く) 階段は、蹴上150mm以下、踏面300mm以上、蹴込20mm以下とし、高低差2,500mm以内毎に踏場は、踏幅1,600mm以上とすること。 スロープは、勾配1/20以下とし、高低差500mm以内毎に1,500mm以上(ベンチ利用部分を除く)の踊り場を設け、水平距離50mを超える場合は50m以内毎にベンチを設けること。 階段に併設されたスロープの上り口は、階段上り口と近接した位置に計画すること。 スロープ及び階段裏側の有効高さ2,100mm以下の範囲は、衝突防止の為に1,100mm以上のフェンスを設けること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1~3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		一時停車スペース	1	-	-	-	-	北側道路から大型バス(全長約12m)が出入りしやすいように配置すること。																									

分類	階数	室名	室数	有効天井高 (mm)	面積 (1室)	面積 (合計)	配置	特記事項(用途および仕様)	官庁施設の基本性能基準							建築	電気				空調	換気	給排水						
									耐火	初期 期火災	対 浸水	防 犯性	音 環境	光 環境	熱 環境	空 気 環 境	情 報 化 対 応	内部 仕上	照明		電源		構内 交換						
																		監 視 カ メ ラ	空 調										
		駐輪場	1	-	-	-	北側道路から出入しやすい位置に配置すること。	自転車、バイク用に合計30台分以上設けること。 バイク駐車に配慮した舗装とすること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		芝生広場	1	-	-	約1,700m ²	芝生広場・屋根付き広場・遊具広場は、それぞれが隣り合い、且つそれぞれの場所から広場全体を渡せるように配置すること。	芝生広場は、運動会等多目的な利用を想定し整形に計画すること。 天然芝とし、表層勾配0.5%以上確保すること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-				
		屋根付き広場	2以上	4,800 又は 3,800 以上	-	合計約1,500m ² 以上	芝生広場・屋根付き広場・遊具広場は、それぞれが隣り合い、且つそれぞれの場所から広場全体を渡せるように配置すること。	整形に1,000m ² 以上(有効天井高さ4,800mm以上)を1か所設けること。その他の屋根付き広場は、有効天井高さ3,800mm以上とすること。 舗装面は人工芝とし、車いす使用者の通行に配慮して障害者団体等説明会での意見を踏まえて芝の長さを選定すること。 屋根面下部全面に、暑熱対策用のミスト噴霧設備を設けること。噴霧部の高圧配管の設置間隔は、4,000mm程度とすること。 屋根の材質、形状は、公園との調和がとれたものとすること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○			
		遊具広場	1以上	-	-	合計約400m ²	芝生広場・屋根付き広場・遊具広場は、それぞれが隣り合い、且つそれぞれの場所から広場全体を渡せるように配置すること。	遊具広場面積は、安全領域を含んだ遊具設置エリア面積の合計とすること。 インクルーシブ遊具を中心に、誰でも使いやすい対象年齢0歳から12歳までの遊具を満遍なく選定すること。 転落・転倒の危険性のある遊具の安全領域は、けが防止のためにゴムチップ舗装(ゴムチップ層とクッション層の2層)とすること。 遊具は下記を満たす製品とすること。 「遊具の安全性に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合したSPマーク表示表示認定企業の製品とすること。 (一社)日本公園施設業協会の団体加入保険である公園施設団体賠償責任保険制度に加入した製品とすること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		ミスト広場	1以上	-	-	合計180m ² 以上	提案による	舗装面(排水施設及び周辺を含む)は防滑仕様とし、床の舗装面から噴き出すミスト噴霧設備を設けること。 高圧配管は維持管理点検が容易であり、利用者が損傷させないようにU字溝内に敷設し、細目ノンスリップグレーティングとすること。 雲海をイメージしたミストが発生できるように、噴霧ノズルの設置間隔は90~150mm程度とし、噴霧ノズル数は370個以上設けること。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	
		男子トイレ	1	2,600 以上	30m ²	30m ²	広場の各所からアクセスし易い位置。	小便器3か所、大便器2か所、手洗器3か所以上を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
		女子トイレ	1	2,600 以上	30m ²	30m ²	広場の各所からアクセスし易い位置。	大便器4か所、幼児用小便器1か所、手洗器4か所以上を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
		幼児トイレ	1	2,600 以上	10m ²	10m ²	広場の各所からアクセスし易い位置。	大便器、小便器、手洗器をそれぞれ1か所以上設けること。 手洗器とともに鏡を設置すること。 ハンドドライヤーを設置すること。 衛生的で、幼児にも使いやすく快適性の高い器具を採用すること。 配置は、配管の更新など修繕工事時における施設機能が確保されるように計画すること。 トイレの自動水栓、小便器、大便器の電源は停電時でも給電できるよう保安回路とすること。 トイレの手洗いは自動水栓とし、水石けん供給栓(露出タイプ)を整備すること。 小便器は個別自動洗浄小便器とする。 紙巻器は棚付き2連のものとすること。 排気は、専用の独立した換気設備とすること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
		バリアフリートイレ	2	2,600 以上	10m ²	20m ²	広場の各所からアクセスし易い位置。	バリアフリートイレ内には、洋式便器(両側手摺、背もたれ及び小型手洗器付き)、手洗器、大型ベッド、オストメイト設備、着替え台、ベビーチェアを設けること。 壁面の見やすい位置にアイキャッチを設けること。 バリアフリートイレ内の洋式便器とその他の目隠しの為にカーテンを設けること。 温水洗浄暖房便座は蓋なし、洗浄ボタン及び温水洗浄便座のリモコンは壁付けの自己発電式、温風乾燥機能内蔵とする。 補助犬用トイレを1ヶ所以上隣接して計画すること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
		用具庫	1	-	5m ²	5m ²	地上1階トイレに隣接。	掃除流しを1か所設けること。 掃除用具整頓のためのフック及び棚を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	G	100	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-

分類	階数	室名	室数	有効天井高 (mm)	面積 (1室)	面積 (合計)	配置	特記事項(用途および仕様)	官庁施設の基本性能基準								建築	電気				空調	換気	給排水						
									耐火	初期 火災	対 浸水	防 犯性	音 環境	光 環境	熱 環境	空 気 環 境	情 報 化 対 応	照明	電源	構内 交換	監 視 カ メ ラ									
駐車場関連諸室	地上 1 階	倉庫	1	-	30m ²	30m ²	適宜設置	適宜計画すること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	G	100	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	
		電気室	1	-	30m ²	30m ²	適宜設置	メンテナンスや設備更新に必要なスペースを考慮して、十分な規模を確保すること。 騒音・振動・温湿度に配慮した計画とすること。 機器等の搬出入を考慮し、必要な開口等を設けること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	F	200	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
		発電機室	1	-	20m ²	20m ²	給油車による給油に配慮して計画	メンテナンスや設備更新に必要なスペースを考慮して、十分な規模を確保すること。 騒音・振動・温湿度に配慮した計画とすること。 機器等の搬出入を考慮し、必要な開口等を設けること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	F	200	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
		受水槽室	1	-	15m ²	15m ²	適宜設置	メンテナンスや設備更新に必要なスペースを考慮して、十分な規模を確保すること。 騒音・振動・温湿度に配慮した計画とすること。 機器等の搬出入を考慮し、必要な開口等を設けること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	F	200	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
		防災センター	1	2,300 以上	40m ²	40m ²	陸上競技場の防災センターから行き来し易い位置。	本施設全体の各種設備類を集中管理する為に適した環境を整備する。 陸上競技場の防災センターを監視場所とし、監視ができるようすること。 総合操作盤を設置すること。 機器や配線の設置・変更・更新に配慮して二重床とする。 消防隊が侵入し易い構造及び配置とすること。	III	II	II	II	III	III	III	III	II	-	B	500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		仮眠室	1	2,300 以上	10m ²	10m ²	防災センターに併設。	ベッド1台、着替えや荷物を収納できるロッカー(2名分)を配置ができる広さとすること。	III	II	II	II	III	III	III	II	-	C	300	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	
		シャワー室	1	2,100 以上	10m ²	10m ²	防災センターに併設。	脱衣スペースを設け、荷物棚を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	III	-	III	D,E	300	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	
		給排気口 又はドライエリア	提案	-	-	-	広場計画に支障がない位置。	公園利用者の転落防止対策としてFL+1.8m以上のフェンス等の転落防止措置を講じること。 物の投げ入れ防止として開口部に水平方向に落下防止ネットを設けること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
地下 1 階	地下 1 階	駐車場	1	2,300 以上	-	約7,200m ²	-	既存施設入出庫口と合計して、入庫口は1か所以上、出庫口は2か所以上として計画すること。 有効幅員1,800mm以上の安全通路を設け、EV、トイレ(バリアフリートイレ、男子トイレ、女子トイレ)及び階段それぞれを接続すること。 車いす使用者用駐車スペースを4台以上設け、両側に有効幅員1,400mm以上の乗降スペースを設けること。(安全通路等の乗降可能なスペースを確保できる場合を除く) 既存施設と新施設駐車場の接続部は、雨に濡れないために屋根スラブを設けること。 各駐車スペースの区画線、車止めを設置する。 舗装面に、誘導線などのトラフィックペイントを新設する。 柱角部に、コーナーガードを設置する。 事故防止のため、カーブミラーを設置する。 浸水対策のため、電動止水板を入出庫口に設置する。 清掃用に散水栓を適宜設けること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	H	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	
		倉庫	4	-	-	-	適宜設置	適宜計画すること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	G	100	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	
		男子トイレ	1	2,600 以上	30m ²	30m ²	駐車場の各所からアクセスし易い位置。	小便器3か所、大便器2か所、手洗器3か所以上を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	
		女子トイレ	1	2,600 以上	25m ²	25m ²	駐車場の各所からアクセスし易い位置。	大便器3か所、幼児用小便器1か所、手洗器3か所以上を設置すること。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	
		パリアフリートイレ	2	2,600 以上	10m ²	20m ²	車いす使用者用駐車スペース、優先駐車スペース及びエレベーターからアクセスし易い位置。	パリアフリートイレ内には、洋式便器(両側手摺、背もたれ及び小型手洗器付き)、手洗器、大型ベッド、オストメイト設備、着替え台、ベビーチェアを設けること。 壁面の見やすい位置にアイキャッチを設けること。 パリアフリートイレ内の洋式便器とその他との目隠しの為にカーテンを設けること。 温水洗浄暖房便座は蓋なし、洗净ボタン及び温水洗净便座のリモコンは壁付けの自己発電式、温風乾燥機能内蔵とする。	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	A	200	-	○	-	-	-	-	○	-	○	○	
		ファンルーム	4	-	-	-	適宜設置	メンテナンスや設備更新に必要なスペースを考慮して、十分な規模を確保すること。 騒音・振動・温湿度に配慮した計画とすること。 機器等の搬出入を考慮し、必要な開口等を設けること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	F	200	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
		消火ポンプ室	1	-	35m ²	35m ²	適宜設置	メンテナンスや設備更新に必要なスペースを考慮して、十分な規模を確保すること。 騒音・振動・温湿度に配慮した計画とすること。 機器等の搬出入を考慮し、必要な開口等を設けること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	F	200	-	○	○	○	○	○	-	○	-	○	

分類	階数	室名	室数	有効天井高 (mm)	面積 (1室)	面積 (合計)	配置	特記事項(用途および仕様)	官庁施設の基本性能基準								建築	電気				空調	換気	給排水									
									耐火	初期 火災	対 浸水	防 犯性	音 環境	光 環境	熱 環境	空 気 環 境	情 報 化 対 応	内部 仕上	照明		電源		構内 交換		監 視 カ メ ラ	空調	換気	給排水					
																			照 度 (L x)	發 電 機 回 路	コ ン セ ン ト	發 電 機 回 路	T E L 等	L A N									
既存施設	関連クリエーション広場	地上1階	男子トイレ	1	-	-	-	-	天井内設置の換気設備を撤去更新すること	IV	II	II	III	-	III	-	II	-	-	200	○	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
			女子トイレ	1	-	-	-	-		IV	II	II	III	-	III	-	II	-	-	200	○	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
			パリアフリートイレ	1	-	-	-	-		IV	II	II	III	-	III	-	II	-	-	200	○	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
			事務室	1	-	-	-	-		IV	II	II	III	III	II	II	I	-	-	500	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	
駐車場関連諸室	駐車場関連諸室	地上1階	電気室	1	-	-	-	-	設備基礎を含む全ての設備を撤去更新すること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	-	200	○	○	○	1/2	-	-	-	○	○	○	-	-	
			発電機室	1	-	-	-	-		III	II	II	II	-	III	III	II	-	-	200	○	○	○	1/2	-	-	-	○	○	-	-	-	
			ポンプ室	1	-	-	-	-		III	II	II	II	-	III	III	II	-	-	200	-	○	○	1/2	-	-	-	-	○	-	○	-	○
	地下駐車場	地下1階	駐車場	1	2,300以上	-	-	-	地下駐車場のコーナーガードは、全て更新すること。 西東ランプウェイ地上部の電動防水板を撤去し、更新すること。 カーブミラーは駐車場内経路変更に合わせて新設とし、不要なカーブミラーは撤去すること。 地下駐車場の既設側溝は、全て更新すること。 東西ランプウェイ側壁の塗装及びシーリングを更新すること。 地上及び地下1階歩行者通路の床舗装材は、表層除去の上、更新すること。 地下駐車場の塗床及びトラフィックペイントは、表層除去の上、新設施設側の地下駐車場との一体的な利用・管理を鑑みて全面更新すること。 駐車場管制装置設備電源は発電機回路とすること。 清掃用に散水栓を適宜設けること。	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
			管理室(1)	1	2600以上	37m ²	37m ²	-	総合盤等の全ての機器配管類を撤去し、壁面塗装補修をすること。 職員用トイレ設備等を撤去し、トイレ内装を諸室利用できるように更新すること	IV	II	II	III	III	II	II	I	-	-	500	-	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	-	
			管理室(2)	1	2600以上	21m ²	21m ²	-		IV	II	II	III	III	II	II	I	-	-	500	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	
			倉庫(1)~(4)	4	-	11 ~ 27m ²	126m ²	-	-	IV	II	II	III	-	III	III	II	-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
			男子トイレ	1	2400以上	17m ²	17m ²	-		IV	II	II	III	-	III	-	II	-	-	200	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
			女子トイレ	1	2400以上	17m ²	17m ²	-		IV	II	II	III	-	III	-	II	-	-	200	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	
			ファンルーム(1)~(9)	9	-	30 ~ 51m ²	378m ²	-	設備基礎を含む全ての設備を撤去更新すること。	III	II	II	II	-	III	III	II	-	-	200	-	○	○	1/2	-	-	-	-	○	-	-	-	
			消防ポンプ室	1	-	34m ²	34m ²	-		III	II	II	II	-	III	III	II	-	-	200	○	○	○	1/2	-	-	-	-	○	-	○	-	○